

## 審議事項

## ( 課題 1 )

下水道を取りまく諸情勢の中長期的な変化に対応して、今後の下水道行政の進むべき方向性は如何にあるべきか。

## [趣旨]

今後、人口減少や少子高齢化、産業空洞化の進行などの社会情勢の変化、気候変動や鉱物資源の枯渇などの地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化、快適で便利な生活やよりよい環境を求める国民ニーズの変化などが進むと考えられる。このような中で、将来の社会に対し、下水道に期待される役割は何か、どのような貢献ができるのか。そのためには、どのようなビジョンを持って整備・管理がされるべきか。

## ( 課題 2 )

近年の社会情勢システムの変化や国・地方を通じての厳しい財政状況を踏まえ、引き続き下水道に求められる多様な課題に的確に対応していくため、下水道財政・経営に関する今後の方向性は如何にあるべきか。

## [趣旨]

現下の社会経済状況の変化や厳しい財政状況に対応し、下水道の多様な役割を的確に果たすためには、普及が後れている中小市町村の整備促進や、合流改善、高度処理などの新たな課題に対する国の責務、流域単位での費用負担のあり方、下水道財政・経営からみた最適な管理・経営主体のあり方など、下水道財政・経営に関する今後の方向性は如何にあるべきか。

## ( 課題 3 )

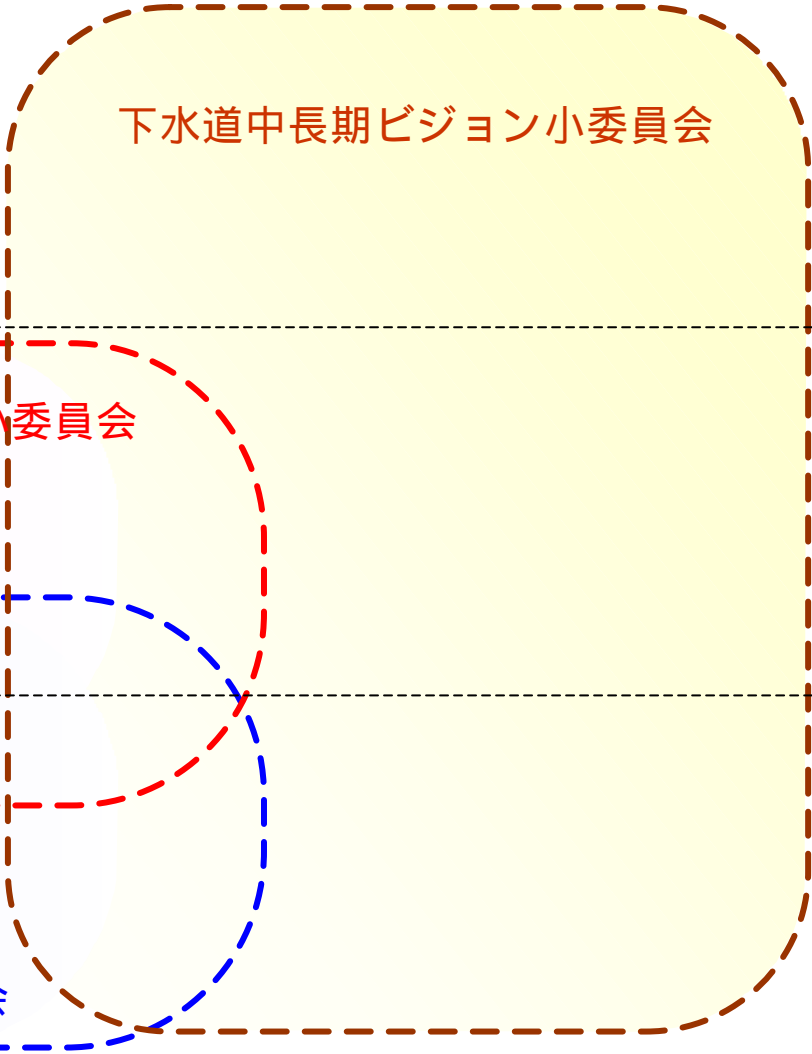
総合的な水行政の将来像を踏まえ、流域管理の視点に立った今後の下水道行政は如何にあるべきか。

## [趣旨]

水に関する問題の多くは、流域における社会経済活動に起因している。第3回世界水フォーラムにおいても、流域管理を含む総合的な水行政が主要なテーマとして取り上げられた。今後の下水道行政において、流域管理の視点に立った、他の水行政部門との有機的結合は如何にあるべきか。さらに、計画や経済的手法、組織に関する具体的制度は如何にあるべきか。

# 下水道政策研究委員会における各小委員会の検討事項

下水道の役割・  
ビジョン



財政・経営

流域管理

現在 将来